

# 平成5年度支部総会報告(1)

## 北海道支部

日時：平成5年4月2日(金)

議題：

### 1. 平成4年度事業報告

- 1) 通常総会  
平成4年4月3日(金)：北電北2条クラブ
- 2) 運営委員会  
平成4年4月3日(金)：北電北2条クラブ
- 3) 研究会  
平成4年10月29日(木)：北海道大学経済学部
- 4) 講演会  
平成4年11月25日(水)・平成4年12月8日(火)
- 5) 普及活動  
以下の事業に協力・後援を行なった。  
情報処理北海道シンポジウム'92：地方開催第1回企業サロン：第4回RAMPシンポジウム：『ORの計算環境』研究部会

### 2. 平成4年度収支決算報告書

貸借対照表 平成5年2月28日現在 (単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	29,910	前期繰越金	680,197
預貯金	733,353	当期運営残高	83,066
合計	763,263	合計	763,263

自 平成4年3月1日

収支決算書 至 平成5年2月28日 (単位：円)

科目	予算	決算	備考
(1)収入の部合計	327,600	288,720	
(2)支出の部合計	1,007,797	205,654	
(3)当期運営残高	▲680,197	83,066	=(1)-(2)
(4)前期繰越金	680,197	680,197	
(5)次期繰越金	0	763,263	=(3)+(4)

### 3. 北海道支部規約改訂

(支部顧問)

第10条 本支部に支部顧問をおくことができる。本支部の活動に特に貢献があった者を支部顧問として運営委員会が推せんし、これに基づいて支部長が委嘱する。支部顧問は支部の重要事項について支部長の諮問に応じて意見を述べ、随時事業に参加することができる。(以下条番号繰り下げ・後略)

### 4. 平成5年度事業計画

- 1) 研究会：平成5年度は1～2回実施する。
- 2) 講演会：平成5年度は1～2回実施する。
- 3) 普及活動

### 5. 平成5年度予算

(単位：円)

収 入		支 出	
合 計	1,128,863	合 計	1,128,863

### 6. 平成5年度支部役員

支部長 猿谷厚朋(北海道電力㈱)

運営委員 浅利英吉(北海道文理科大学), 五十嵐日出夫(北海道大学工学部), 伊藤正義(北海道工業大学), 大内 東(北海道大学工学部), 大堀隆文(北海道工業大学), 河口至商(北海学園大学工学部), 川向史矩(北星学園大学経済学部), 北川正彦(札幌市建築局), 木村俊一(北海道大学経済学部), 佐藤馨一(北海道大学工学部), 関口恭毅(北海道大学経済学部), 高野伸栄(北海道大学工学部), 竹内俊正(日本ユニシス㈱), 田中嘉浩(北海道大学経済学部), 谷口君雄(北海道自動車短期大学), 千葉博正(北海道自動車短期大学), 堂柿栄輔(北海学園大学工学部), 長津行高(北陵ジー・アール・シー工業㈱), 沼田 久(小樽商科大学), 長谷川淳(北海道大学工学部), 山村悦夫(北海道大学大学院地球環境科)

学研究科), 若林信夫 (小樽商科大学),  
 幹事 大柳俊夫 (札幌医科大学), 喜多正志 (北海道電力㈱), 行方常幸 (小樽商科大学), 吉野孝行 (北海道電力㈱)  
 監事 元谷靖宏 (北海道ソフト・エンジニアリング㈱)

## 東 北 支 部

日時: 平成5年5月18日(火)

### 議題:

#### 1. 平成4年度事業報告

- 1) 通常総会  
平成4年6月4日(木): 東北電力会議室
- 2) 運営委員会  
平成4年6月4日(木): 東北電力会議室
- 3) 研究会  
平成4年9月4日(金): 平成5年2月19日(金):  
平成5年3月26日(金)
- 4) 講演会  
平成4年6月4日(木)

#### 2. 平成4年度収支決算報告書

貸借対照表 平成5年2月28日現在 (単位: 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預貯金	5,994	前期繰越金	-849
		当期運営残高	6,843
合 計	5,994	合 計	5,994

自 平成4年3月1日

収支計算書 至 平成5年2月28日 (単位: 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(1)収入の部合計	304,449	304,738	
(2)支出の部合計	303,600	297,895	
(3)当期運営残高	849	6,843	=(1)-(2)
(4)前期繰越金	-849	-849	
(5)次期繰越金	0	5,994	=(3)-(4)

#### 3. 平成5年度事業計画

- 1) 総 会 1回開催
- 2) 運営委員会 随時開催
- 3) 幹事会 随時開催

- 4) 講演会 2回程度開催
- 5) 研究会 3回程度開催
- 6) OR普及活動
- 7) 会員増強

#### 4. 平成5年度一般会計予算

(単位: 円)

科 目	予 算	前年予算	増 減	備 考
収入合計	334,794	303,600	-31,194	
支出合計	334,794	303,600	-31,194	

#### 5. 平成5年度支部役員

支部長 幕田圭一 (東北電力)  
 副支部長 奈良久 (東北大学), 岡村敏光 (NTT東北支社)  
 運営委員 荻野正浩 (御茶ノ水外語学院), 木村正行 (先端技術大学院), 熊谷和夫 (相馬共同火力発電), 後藤義雄 (河北新報社), 宮地昭夫 (東北地方建設局), 小野寺博 (日本IBM), 鈴木義也 (東北大学), 小園典典 (NTT東北支社), 高橋幸雄 (東京工業大学), 竹内清 (石巻専修大学), 田中謙輔 (新潟大学), 手島恒男 (会津大学短期大学部), 山本保 (東北コンピュータサービス), 千葉孝 (通研電気), 渡利千波 (東北学院大学), 岩田恒一 (石巻専修大学), 御園生善尚 (日本大学), 福山年昭 (東北コンピュータサービス), 鈴木宏輔 (東北電力)

監事 千葉雅保 (河合塾文理学院), 関田康慶 (東北大学)

幹事長 武藤滋夫 (東北大学)

幹事 神正照 (東北工業大学), 鈴木久才 (東北地方建設局), 鈴木康彦 (福島大学), 瀬戸口良三 (帝京大学), 笹村莞司 (東北電力), 熊本義信 (日本IBM), 鈴木隆志 (NTT東北支社), 高橋良和 (東北電力), 石川明彦 (岩手大学), 谷内正文 (東北学院大学), 稲葉輝雄 (東北システムズ・サポート), 青木茂 (日本電話帳開発), 増田聡 (東北大学), 大西匡光 (東北大学)

顧問 遠藤市彌 (東北発電工業), 和田秀三 (東北大学), 小川久 (山形大学), 富田耕

造(河北仙阪), 御園生善尚(日本大学),  
竹内 清(石巻専修大学), 斉藤 浩(東  
日本興業), 中澤博司(東北電力)

## 中 部 支 部

日時: 平成5年3月13日(土)

議題:

### 1. 平成4年度事業報告

- 1) 通常総会  
平成4年3月14日(土): 中部品質管理協会第1研  
修室
- 2) 幹事会  
平成4年4月25日(土): 平成4年10月26日(月):  
平成5年2月26日(金)
- 3) 支部研究発表会  
平成4年3月14日(土)
- 4) 定例講演会  
平成4年12月12日(土)
- 5) 研究会  
3回
- 6) 中部支部講演会  
平成4年6月25日(木): 名古屋工業大学生産シス  
テム工学科
- 7) 刊行物
- 8) OR企業サロン  
平成4年11月26日(木)

### 2. 平成4年度収支決算報告書

自 平成4年3月1日  
収支決算書 至 平成5年2月28日 (単位: 円)

科 目	予 算	決 算	備 考
(1)収入の部合計	599,000	595,881	
(2)支出の部合計	567,004	585,375	
(3)当期運営残高	31,996	10,506	=(1)-(2)
(4)前期繰越金	△31,996	△31,996	
(5)次期繰越金	0	△21,490	=(3)+(4)

### 3. 平成5年度事業計画

- 1) 支 部 総 会: 1 回
- 2) 運 営 委 員 会: 1~2回
- 3) 幹 事 会: 数 回
- 4) 支 部 研 究 発 表 会: 1 回
- 5) OR学会定例講演会: 1 回
- 6) 支 部 講 演 会: 1 回
- 7) 事 例 研 究 会: 1 回
- 8) 研 究 会: 数 回
- 9) 見 学 会: 1~2回
- 10) 支部ニュースの刊行: 10 回

### 4. 平成5年度収支予算

(単位: 円)

収 入 合 計	598,510
支 出 合 計	598,510

### 5. 平成5年度支部役員

- 支 部 長 田中庸平(中部電力㈱)  
副支部長 澤木勝茂(南山大学)  
運営委員 安達公一(名古屋工業大学), 飯田次生  
(日本ガイシ㈱), 榎本久徳, 大野勝久  
(名古屋工業大学), 小谷重徳(トヨタ自  
動車㈱), 玉置光司(愛知大学), 辻 紘  
良(㈱豊田中央研究所), 中川覃夫(愛  
知工業大学), 中田友一(中京大学), 吉  
野玄一(東海コープ準備会)
- 監 事 岩田 伶(㈱名鉄コンピュータサービ  
ス), 日比野康文(愛知学院大学)
- 幹 事 中井恵一(中部品質管理協会), 城野剛  
伸(中部電力㈱), 前田茂智(㈱名鉄コ  
ンピュータサービス), 大鏑史男(愛知  
工業大学), 鈴木敦夫(南山大学)
- 顧 問 小野勝次(名古屋大学名誉教授)